



号外

埼玉県(第1区版)
2010年6月11日発行

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
TEL 03-3595-9988(代表)

民主党埼玉県連広報局
さいたま市浦和区高砂3-6-16
Tel 048-833-3500
Fax 048-833-3503
URL <http://minshu.org>
E-mail info@minshu.org

～たけまさ公一 衆議院議員の国会レポート～第109号

おかげさまで衆議院議員在職 10年！



菅総理所信表明演説(6月11日)
米軍普天間基地移設問題(5月28日)
WTO(世界貿易機関)・
OECD(経済協力開発機構)閣僚理事会に出席
(パリにて5月27・28日)

ブログ「今日のたけまさ」日々更新中！

たけまさ公一公式ホームページへお越しください

<http://www.takemasa.org>

皆様のご意見・ご要望をお待ちしています

voice@takemasa.org

菅総理所信表明演説(6月11日)

6月2日鳩山総理辞任を受けて、6月4日民主党代表選挙が行われ、菅前副総理が代表に選出され、同日衆議院で内閣総理大臣に指名されました。6月8日、菅内閣が組閣され、翌日外務副大臣として私は再任されました。引き続き、外交安全保障の課題解決に全力で取り組みます。

6月11日の所信表明演説では、特に「行革」「経済・財政・社会保障の建て直し」「責任ある外交安保」の課題を掲げ、新成長戦略では「グリーン成長」「健康産業」「アジア経済」「観光」そして「科学技術」「雇用」を位置づけました。また「最小不幸社会」の具体的な例示が盛り込まれた内容でした。新内閣へのご期待にしっかりと応えていきます。

普天間基地移設問題(5月28日)

鳩山総理が「5月末までに決着」としていた米軍普天間基地の移設問題について28日、名護市辺野古崎周辺に移設するという方針が発表されました。それに先立ち28日早朝には、「日米安全保障協議委員会」の2+2(岡田外相、北澤防相、クリントン国務長官、ゲイツ国防長官)による共同声明が発表され、日米政府は合意しました。

政権発足から8ヶ月、アメリカとの交渉と県内・国外を含めた移設先の調整を行ってきました。今回、5月末までにアメリカの理解は得られたものの、地元の理解が得られないことは遺憾です。政府として国民のみなさんにお詫びしなければなりません。この問題については社民党の政権離脱も残念ですが、それを乗り越えて、訓練の移転、移設に伴う環境への配慮、特に嘉手納における騒音の軽減など、全力で沖縄の負担軽減のためにも取り組んでいきます。

パリでWTO・OECDの閣僚級会合に出席(5月27・28日)

5月27日パリにて、まずWTO(世界貿易機関)の非公式閣僚会合に、直嶋経産大臣とともに出席しました。WTOのラミー事務局長、カーク米通商代表、ロイタードスイス大統領、呼びかけは豪州のクリーン貿易大臣。ドーハ・ラウンド交渉(DDA)の現状と今後の取り組み方について議論するため、途上国を含む主要国代表が集まりました。私からは、札幌で開かれるAPEC貿易担当大臣会合で、日本がDDAへの積極的な対応を図る姿勢を打ち出していきたいと発言しました。

27日午後、OECD本部で1日目の閣僚理事会が開かれました。全体のテーマは各国の経済成長見通しと、イノベーション促進のための戦略。開

会後の昼食会は「OECD の戦略的方向性」についてで、私からは、日本の持続的な成長の前提でもある「財政再建と雇用」について発言しました。午後のセッションは「財政再建」で財政危機のギリシアを含め、各国から財政再建についての発表がなされました。

2日目となった閣僚理事会では、「適切性・健全性・透明性」「成長の道」「貿易」等がテーマ。「貿易」については私からも発言を求め、「貿易への援助」が重要であること、また貿易の自由化や投資促進の重要性を訴えました。OECD は日本の目標経済成長率を3.0%と昨年11月予測の1.8%から大幅に上方修正しました(別表参照)ように、世界は日本経済の回復に期待しています。今こそ「成長戦略」の具体化と財政再建「中期財政フレーム」が必要です。「国を開き」「官を開き」、世界の期待に応えていかなければなりません。これはまもなく発表します。

また今回の閣僚理事会では日本がイニシアチブをとって結論文書を取りまとめましたが、これはG8・G20につながる実績と考えています。

OECDの各国実質成長率(%)見通し(2010年5月26日発表)

国名	09年	10年	11年	国名	09年	10年	11年
日本	5.2	3	2	英国	4.9	1.3	2.5
米国	2.4	3.2	3.2	カナダ	2.7	3.6	3.2
ドイツ	4.9	1.9	2.1	ユーロ圏	4.1	1.2	1.8
フランス	2.5	1.7	2.1				
イタリア	5.1	1.1	1.5	OECD 全体	3.3	2.7	2.8

はマイナスをあらわす

2 毎日新聞2010年5月27日付HPより抜粋

即戦略・突破力！
あの中東の専門家が国政に挑戦！

民主党埼玉県参議院選挙区
第5総支部長

大野もとひろ



埼玉県川口市出身 46歳 慶應義塾大学卒業後、国際大学で中東研究の博士号取得。外務省勤務を経て中東調査会上席研究員。中東研究の第一人者として著作、TV・ラジオ出演多数。防衛省、経産省、内閣府等の委員歴任。湾岸戦争時には、人質救出に貢献。イラク戦争前には国会で「イラクは国際社会に大量破壊兵器の脅威を及ぼしえない。開戦すれば、戦後のイラクは長期混乱する。」と発言、一石を投じる。彩の国国際親善大使。家族は妻、子供3人。学生時代はアメフト、柔道に没頭。趣味は落語・音楽